

第2回浦安市宿泊税導入検討委員会

提出資料

(一社)浦安観光コンベンション協会



■ 浦安観光の概況

- 浦安観光の変遷
- 宿泊者数、客室数、観光客数
- 浦安の産業構造と観光
- 浦安観光の課題
- 浦安の観光イノベーションプラン

■ 宿泊税について

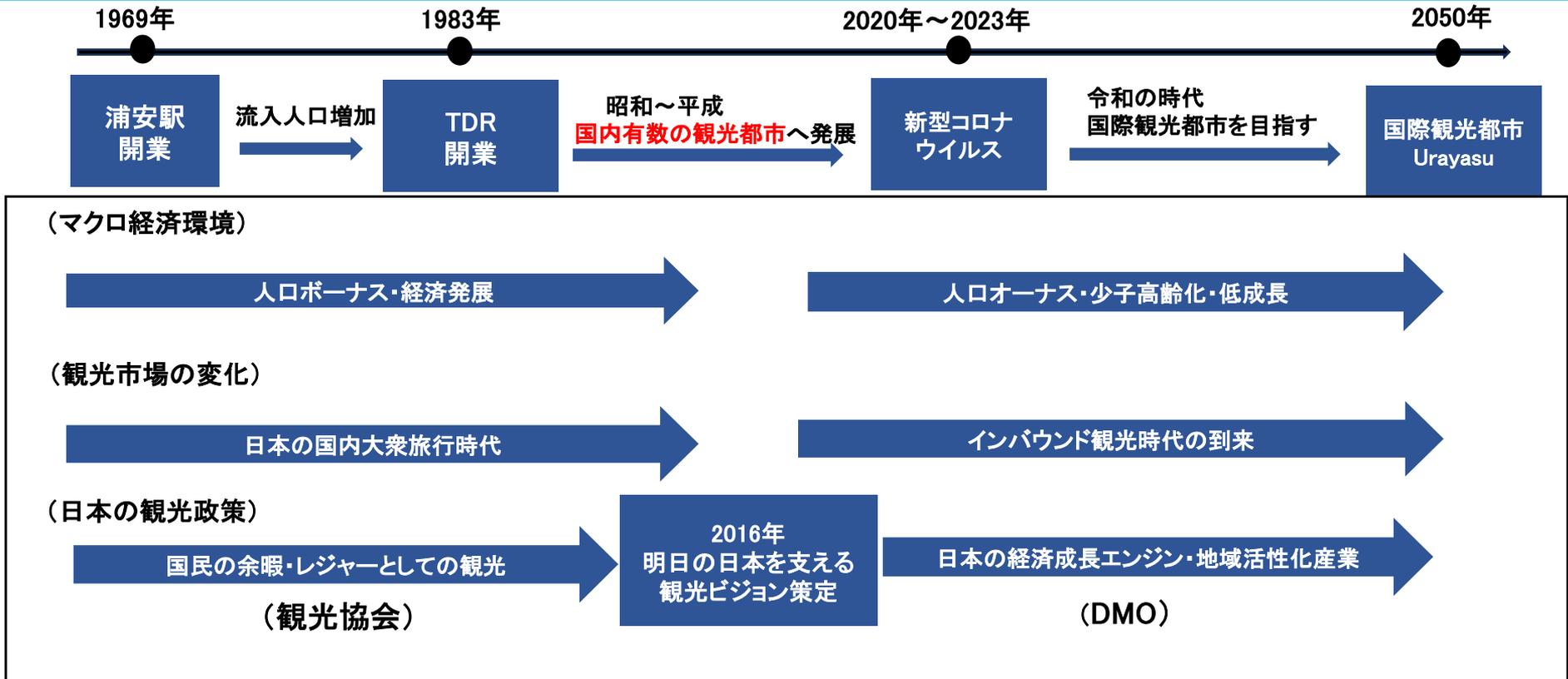
- 宿泊税導入の意義について
- 観光予算、宿泊税等の他都市との比較
- 宿泊税の用途について
- 課税免除と県と市の宿泊税の運用について



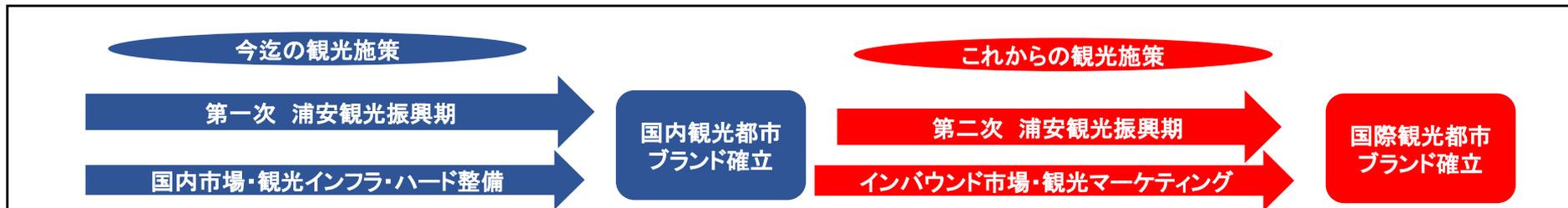
浦安観光の概況



浦安の観光の変遷



浦安の観光施策の方向性



浦安の宿泊データ

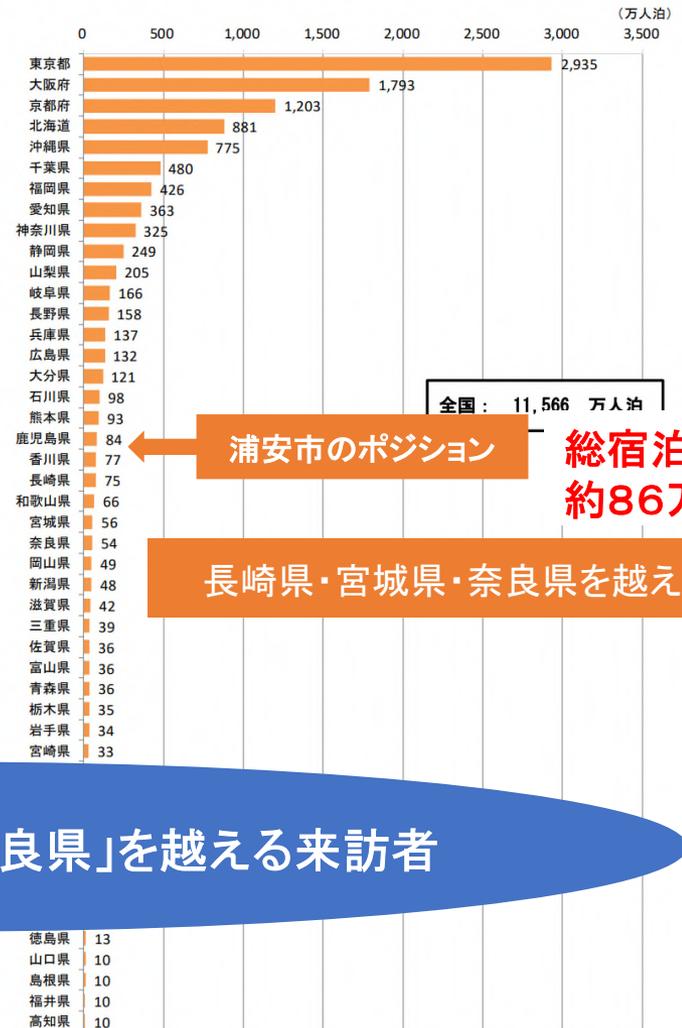
(2019年データ比較)



都道府県延べ宿泊者数



都道府県外国人延べ宿泊者数



浦安市一つで「長崎県」「奈良県」を越える来訪者

■浦安の客室数の比較



浦安の客室数の県内比較(2019年)

1位	浦安市	11,705室	39施設
2位	千葉市	9,481室	91施設
3位	成田市	9,133室	55施設
4位	南房総市	2,336室	181施設
5位	市原市	2,104室	50施設
6位	木更津市	2,032室	29施設
7位	鴨川市	1,919室	92施設
8位	船橋市	1,905室	37施設
9位	柏市	1,666室	30施設
10位	館山市	1,428室	122施設

千葉県と浦安の宿泊者数比較(2019年)

	宿泊者数	修学旅行者数
千葉県全体	20,100,902	529,316
浦安市	8,074,604	406,803
浦安シェア	40.1%	76.8%

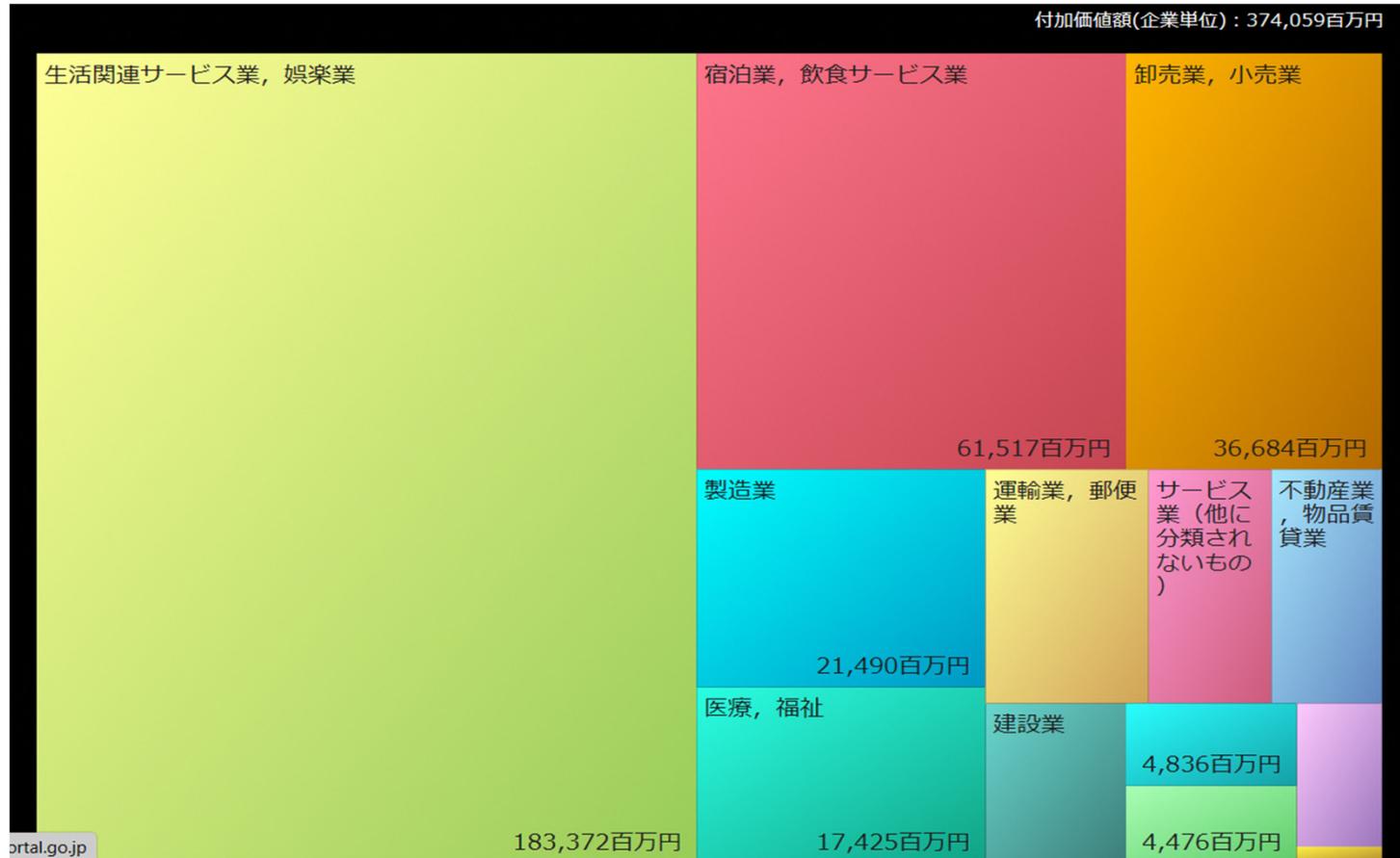
* 浦安市の宿泊施設は現在約13,000室に増えている。

* 修学旅行者数は上記の通り70%を超え県内で圧倒的な集客数を持つ。



■浦安市の産業構造(付加価値額(企業単位) 経済センサス-活動調査)

2016年の生活関連サービス業、娯楽業と宿泊業、飲食サービス業の付加価値は2448億8900万円で**市全体3740億5900万円の65%**を占めている。





■浦安観光の主な課題

- 浦安市全体への観光の経済波及効果
- 観光客の舞浜地区への一極集中及び二次交通の整備
- 地元の特産品、土産開発等、地元事業者と観光産業との連携
- 海外インバウンドへの情報発信、多言語案内・Wifi等受入環境整備
- 観光マーケティングの実施に向けたデータ収集及び分析
- 地域資源を活用したコンテンツ・商品化の取組み
- 地域の観光人材の確保と育成
- 住民と観光客に向けたユニバーサルツーリズムの推進
- 観光DXへの取組み
- 観光推進組織のリソース及び機能強化

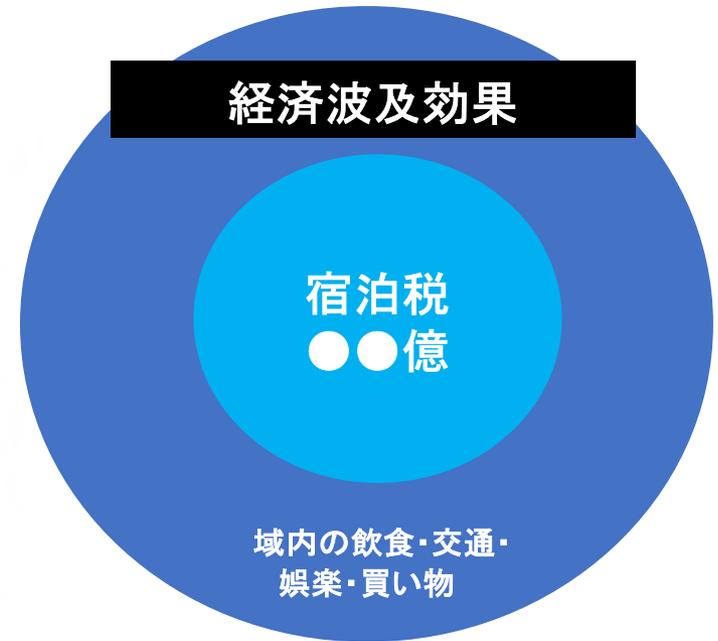
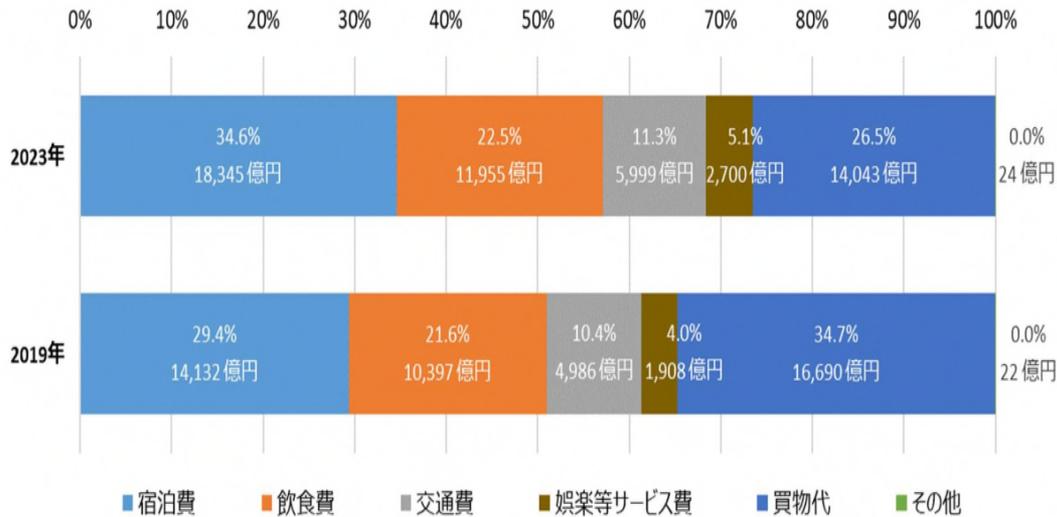
舞浜エリアに「観光客の消費」が集中。
地域全体への裨益が課題。





■ (参考) 観光の経済波及効果

費目別の外国人旅行消費額



宿泊以外にも飲食・交通・買物など広く消費

浦安試算: 80万人の外国人が街で15,000円消費すると120億相当の経済効果

宿泊者の街への回遊・滞在・消費活動を促す事により大きな地域経済効果

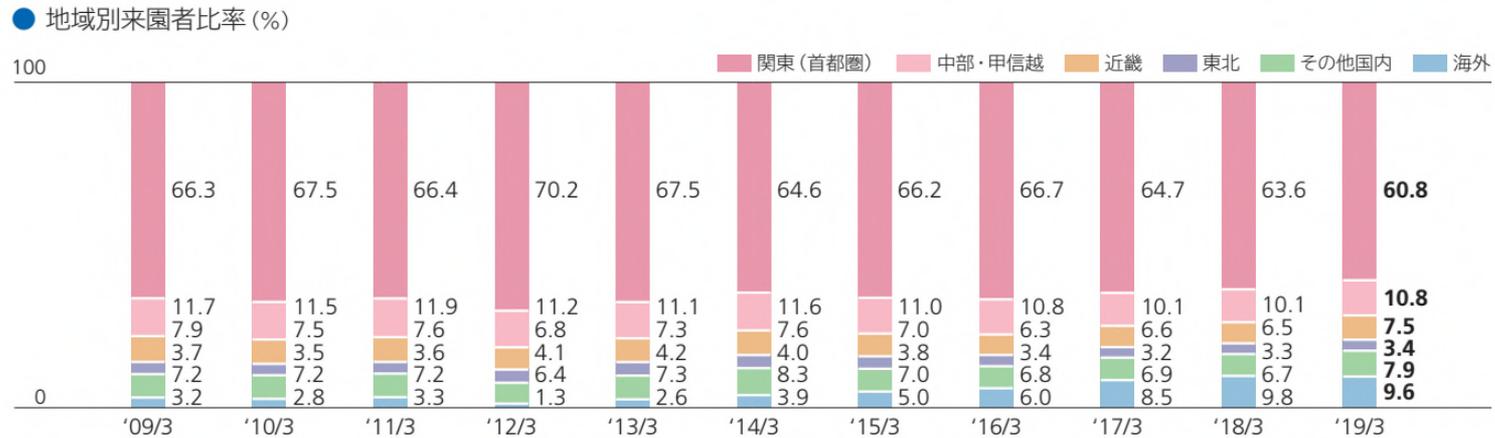


■ (参考資料) TDRの来場者の変遷

2009年からの10年で来場者層に大きな変化

関東圏: 66.3% → 60.8% に減少

海外: 3.2% → 9.6% に増加



オリエンタルランドアニュアルレポートより

従来の「TDRの来訪者は観光しない」の考えを見直し、今後は特にインバウンド客を中心に観光客の市内への回遊を促進し地域経済への波及効果を高める取組を進めていきたい。



浦安観光イノベーションプラン

浦安観光コンベンション協会では、浦安の本質的な観光課題の解決と地域の将来に向けた観光セクターとしての貢献を目指して、浦安観光イノベーションプランを昨年より策定、実施中。

浦安の観光はTDRの開業と共に、国内の観光地としての圧倒的な知名度の向上や大規模宿泊施設の開発によりこの40年で大きく発展してきました。

一方、近年の浦安市の状況を見てみると、「高齢化の進展」や「若年層の減少」、古くからある「商店街や施設などの閉鎖」など他の日本の地域と同様に様々な課題も顕在化してきました。

本年5月日本政府は「新たな観光立国推進基本計画」を閣議決定し、コロナの影響で日本に広がった「内向き思考」を脱却して「ビジネス」「教育・研究」「文化芸術」「スポーツ」「自然」といった新たな視点での「新時代のインバウンド拡大アクションプラン」を策定、コロナ前を上回る5兆円の訪日外国人の旅行消費の早期達成など「日本の国力向上」を目指しています。

この度、浦安観光コンベンション協会では、改めて現在の浦安の観光を取り巻く環境を分析し、浦安における観光推進の意義や組織の存在意義、価値、そしてあるべき姿を見つめ直し、「浦安観光イノベーションプラン」としてとりまとめました。

コロナ禍を経て、回復から再度成長に向かう中、現在、未来に求められる浦安の観光推進の在り方について検討を重ねてきました。

本プランをたたき台として、関係各所との議論を深めていければ幸いです。

2023年9月 浦安観光コンベンション協会

浦安観光イノベーションプラン

一般社団法人 浦安観光コンベンション協会

観光コンベンション協会のビジョン（案）

「住民」「地域産業」「旅行者」にとって価値ある観光施策を通じ、浦安の活性化への貢献を目指します。

持続可能な浦安観光の推進

浦安観光コンベンション協会

今後の取組の方針（案）

浦安の地域全体の魅力を向上させて国内外に広く発信

【実施事項】	【目標】
観光マーケティング推進	観光・交流の活性化
地域マネジメント推進	地域経済への貢献
観光推進機能推進	持続可能な観光の推進

浦安観光コンベンション協会

浦安観光イノベーション

＜浦安観光イノベーションポイント＞

- ★「浦安の観光ポテンシャルは発揮されているか？」
→観光を取り巻く環境、浦安の現状分析、観光セクターの機能検証
- ★「浦安の観光は地域の発展や市民生活の向上に寄与しているか？」
→観光の経済波及効果、観光まちづくりの視点
- ★「観光推進組織として現在の協会の機能は現在のニーズにマッチしているのか？」
→観光立国の指標、インバウンド時代への対応

浦安観光コンベンション協会

浦安観光コンベンション協会のミッション

国際観光都市・浦安の観光セクターとして、この土地の持つ観光ポテンシャルを最大限に発揮し観光を通じて浦安の課題を解決し、国際交流人口の拡大や地域産業への経済波及効果の最大化を目指して、地域一体となった観光振興の推進を目指します。

- ◆「観光・交流の活性化」
世界の人々の笑顔を生じ、観光を基軸とした経済、文化、スポーツ等の交流活性化を目指します。
- ◆「地域経済への貢献」
観光客の来訪を地域産業に誘導、地元経済に貢献する観光GDPの増大を目指します。
- ◆「持続可能な観光の推進」
伝統の暮らしや歴史文化の保全と観光振興の両立を目指します。

浦安の地域全体の魅力を向上させて国内外に広く発信

浦安観光コンベンション協会

観光による地域活性化イメージ

宿泊税の有効活用による地域経済の好循環の形成

浦安観光コンベンション協会

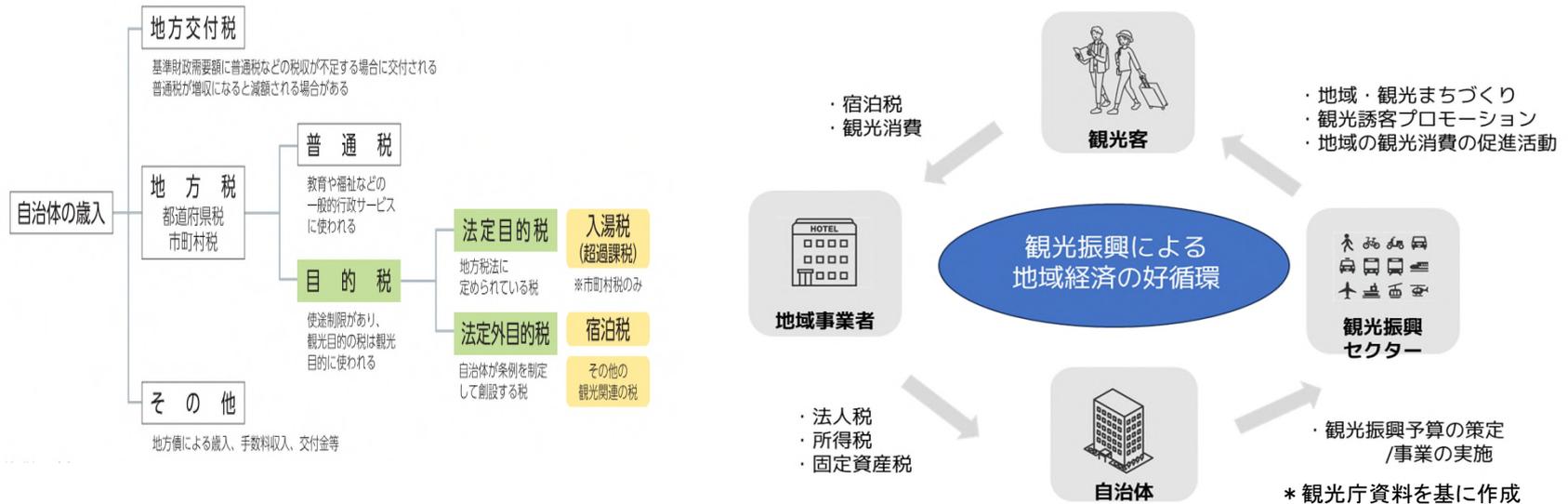


宿泊税について



■観光セクターからみた宿泊税の意義

観光振興による地域経済の好循環の形成



- 地域における観光振興の財源確保については政府・地方自治体において長らく課題とされている。
- 少子高齢化時代においては自治体における一般財源での観光振興予算の確保はハードルが高く国の補助金や一部温泉地の入湯税などに頼らざるをえない状況であった。
- 「宿泊税」は、法定外目的税として、従来の自治体の一般財源に頼らない新たな税収で、持続的な観光を目指す自治体、観光協会、DMOにおいて極めて大切な仕組み。
- 国や他の自治体も「既存施策の単なる穴埋め」ではなく高次元の観光施策への活用を促している。
- 住民サービスや医療、ゴミ問題等への市民生活への対応も非常に重要。
- 一方で宿泊税を安定的に徴収する為には観光振興への投資も不可欠、バランスの取れた使用用途が求められる。
- 観光客から選ばれるための持続可能な観光振興施策を通じ、観光による地元経済への波及効果や地元での雇用の促進、宿泊税に加え地域産業からの税収も増える等地域経済の好循環形成への活用が期待される。



■観光予算・宿泊税の他都市との比較

	長崎市	福岡市	金沢市	浦安市
人口 *2024年1月末 住基	395,438	1,645,123	444,667	171,491
宿泊者数(人泊) 2019年データ	2,705,200	9,780,000	3,431,493	8,074,604
宿泊税充当観光 振興予算 2024年度予算(千円)	464,564	5,891,396	1,629,066	—
宿泊税 2024年度予算(千円)	325,216	2,881,314	890,000	—
宿泊税充当率 観光振興予算/宿泊税	1.43	2.04	1.83	—

浦安の宿泊税を充当した観光振興予算は30億～50億規模と想定



令和6年度の宿泊税活用事業

3億2,521万6千円

① サービス向上・消費拡大 51,417千円
(事業費 91,556千円)

○ **観光地域づくり推進費**

- ・サステナブルツーリズムの推進
- ・体験商品・長崎グルメ情報の提供
- ・クチコミ対策、食の多様化への対応支援
- ・ガイド育成



○ **長崎さるく推進費**

- ・長崎さるくの情報発信、ガイド研修

○ **MICE推進費**

- ・MICE開催に向けた機運醸成や、長崎が持つ地域資源・ユニークベニューを活用したレセプション等の実施

② 情報提供 155,548千円
(事業費 228,544千円)

○ **観光地域づくり推進費**

- ・観光ワンストップサイトにおける情報提供
- ・デジタル広告等による訴求プロモーション
- ・MICE参加者市内回遊促進施策

○ **観光客誘致推進費**

- ・長崎市を舞台とした映画、ドラマ等の作品や出演する著名人を活用したPR



○ **さしみシティ推進事業費**

- ・ガイドブック作成等による、誘客及び訪問客への情報提供

○ **世界・日本新三大夜景推進費**

- ・日本新三大夜景の情報発信

○ **インバウンド誘致広域連携事業費**

- ・万博を契機とした他都市との連携プロモーション、海外リモートワーカー(デジタルノマド※)誘致
- ※IT技術を活用し、場所に縛られず、旅をしながら仕事をする人達のこと

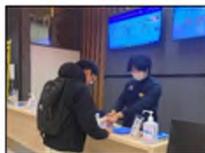
③ 受入環境整備 55,560千円
(事業費 131,770千円)

○ **観光地域づくり推進費**

- ・市民及び市内事業者のおもてなし機運醸成

○ **観光産業人材育成事業費**

- ・将来の観光産業を支える人材の育成のための小中学校における「観光教育出前授業」



○ **総合観光案内所運営費**

- ・訪問客の利便性向上のための情報提示や多言語による案内の実施

○ **観光客受入環境整備費**

- ・Wi-Fi新設(長崎駅東口広場)、多言語案内板整備、オーバーツーリズム対策警備実施

④ 緊急時の対応等 50,000千円

○ **観光交流基金積立金**

⑤ 宿泊税賦課費 12,691千円
(事業費 12,694千円)

○ **宿泊税賦課業務に係る費用及び宿泊税特別徴収事務報償金**

参考)福岡市観光関連事業(令和6年)



福岡市 観光関連事業費約59億・宿泊税約29億

令和6年度一般会計当初予算案における宿泊税当事業について

1. 歳入見込(宿泊税収入+観光振興基金取崩し)

(単位:千円)		
歳入見込 (A+B)	宿泊税収入(A)	観光振興基金取崩し(B)
2,908,594	2,881,314	27,280

※福岡市観光振興基金残高: 711,235千円(令和5年度最終予算時点)

2. 歳出見込(宿泊税当事業一覧)

事業名	事業概要	令和6年度	
		事業費	充当予定額
(1) 九州のゲートウェイ都市機能強化		1,129,117	1,088,987
1 国内代表するMICE拠点の形成	MICE関連施設が一体的に配置されたMICE拠点の形成を目指し、MICEの需要やトレンドを踏まえた機能強化に向けた検討等を実施	724,767	684,637
2 観光案内機能の強化事業	観光案内所において、食に特化した専門デスクを設置し、食をテーマとした観光案内所内のツアー等を実施	17,792	17,792
3 快適な通信環境の提供	地下鉄や美術館等において、Wi-Fiによる快適な通信環境を提供	12,545	12,545
4 デジタルマーケティング調査分析	国内外からの来訪者の行動動向、観光動向及び消費傾向を分析・可視化し、観光関連事業者への情報発信等を実施	44,260	44,260
5 デジタルマーケティング情報発信	福岡の認知度及び来訪者の向上を図るため、国内外に向けたWebプロモーションや国内外向け観光情報サイトの新規構築等を実施	63,451	63,451
6 デジタルサイネージ等を活用した情報発信の強化	市内の観光案内所や観光施設等に観光案内所を制作するとともに、デジタルサイネージやSNS等を活用した情報発信等を実施	29,613	29,613
7 高付加価値旅行の推進による誘客事業	観光消費額の拡大を図るため、食、歴史、伝統文化に関する特別なツアーやイベントなど、事業者は提供できない旅行商品の開発や高付加価値旅行のプロモーション等を実施	48,297	48,297
8 福岡型ワーケーション推進事業	国内向けのプロモーションのほか、長期滞在が見込まれ、観光消費額の高いデジタルノマドの誘客に向け、キーパーソンの招聘や、国内外の関係者が集うカンファレンス等を実施	41,858	41,858
9 広域連携誘客事業	福岡圏の高い両地観光を推進するため、ラジオWebサイトやグローバルメディアを活用した情報発信など、西日本・九州の自治体等と連携した、西の「ゴールデンルート」の取組み等を実施	88,570	88,570
10 修学旅行による都市圏周遊の推進	修学旅行における貸切バス代や体験学習プログラムの参加費を支援するとともに、専門サイトによる情報発信等を実施	57,964	57,964
(2) MICE都市としてのプレゼンス向上		576,653	343,137
11 MICE誘致強化事業	「Meeting Place Fukuoka」の体制を強化し、海外からの参加者増加やビジネス機会の創出につながるMICEの誘致強化等を実施	69,323	69,323
12 MICE支援事業	都市のプレゼンス向上につながる国際会議やビジネス機会の創出につながる展示会など、買のMICEの誘致強化に向けた助成金等の支援内容を拡充	131,374	131,374
13 植物園における花の祭典の開催	花の祭典の開催や会場での高質なガーデン・花装飾の設置	325,608	92,092
14 食のユニバーサル対応推進事業	訪日外国人の多様な食文化に対応するため、飲食店向けメニューの開発支援によるグローバル対応店舗の拡充や、情報発信等を実施	22,333	22,333
15 サステナブルツーリズム推進事業	観光関連事業者向けに、環境にやさしい移動手段や食の地産地消等のコンテンツ開発・導入に係るアドバイスやマッチング等を実施	28,015	28,015
(3) 地域や市民生活と調和した持続可能な観光振興の推進		4,021,490	1,377,833
16 博多旧市街プロジェクト	博多旧市街の認知度向上を図るため、飲食店等と連携した博多旧市街フェスティバルの開催や、歴史・伝統文化の体験や観光情報発信機能等を備えた観光拠点の検討等を実施	49,909	49,909
17 博多旧市街エリアにおける歴史・文化に彩られた道づくり	博多旧市街エリアの観光誘致において、景観向上に向けた無電柱化工事等を実施	70,000	22,500
18 福岡城・薬師館における観光振興事業	福岡城への観光集客向上を図るため、丸の天守閣サイトアップや、夜間の来訪者を誘導する照明照明等を実施	97,758	97,758
19 高輪額整備・活用事業	歴史文化の発信、観光・MICE拠点としての活用を目指し、高輪額車門や碑の一部の復元に向けた実施設計等を実施	117,871	16,641
20 生の松原元寇防塁集客促進事業	生の松原地区元寇防塁の集客促進のため、駐車場運営やプロモーション動画の制作等を実施	6,321	4,569

(単位:千円)

事業名	事業概要	令和6年度	
		事業費	充当予定額
21 文化財を活用した観光資源の創出・発信事業	歴史資源を活かした観光・MICE振興のため、歴史・文化の魅力を発信するコンテンツ制作や、まち歩き機能及び発信の強化、住吉神社能楽館のユニークペニュー活用支援等を実施	32,463	32,463
22 海辺を活かした観光振興事業	志賀島・北緯地区において、海辺の観光周遊促進に向けたレンタサイクル導入支援や、市営渡船を活用したイベントの開催、立ち寄りスポットの整備等を実施	448,768	445,027
23 海辺を活かした観光振興に向けた道づくり	志賀島・北緯地区において、海辺の観光周遊コースの形成に向けた無電柱化工事等を実施	493,000	58,350
24 海の中道エリアにおける自転車通行空間整備	サイクルツーリズムを推進している海の中道エリアにおいて、歩行者や自転車、自動車の安全・安心を確保するため、自転車通行空間の整備等を実施	134,000	11,500
25 海づり公園を活用した北緯地区活性化事業	Fukuoka West Coastの魅力を活かす立寄り拠点を旨とし、海づり公園のリニューアルに向けた整備等を実施	406,870	170,100
26 都心部のリバーフロントを活かした賑わい創出事業	魅力的な水辺空間を創出するため、水辺を活かした賑わいづくりの検討等を実施	10,500	10,500
27 魅力ある水辺空間の創出事業	リバーフロントエリアの魅力向上のため、那珂川沿いの護岸のライフトアップ整備等を実施	189,200	13,460
28 夜の文化・エンタメ集客事業	観光客の滞在滞在等を促進するため、都心部でのイベントやライフトアップを実施するほか、イベントの開催状況と予約情報の一元発信等を実施	97,898	97,898
29 アートによる観光集客事業	福岡城などの観光資源を活用して現代アートを展示するアートイベントを実施	15,112	15,112
30 博物館リニューアル推進事業	幅広い観光客をターゲットとした文化観光の拠点としての機能向上を目指し、リニューアルに向けた取組みを進めるとともに、収蔵庫棟の環境工事及び企画展の企画等を実施	1,548,011	28,237
31 屋台プロモーション事業	観光客の利便性向上のため、屋台の魅力や楽しみなどの情報発信等を実施	13,000	13,000
32 宿泊事業者受入環境充実の支援	宿泊事業者による受入環境の充実や、生産性向上に向けた取組みを支援	41,887	41,887
33 観光産業の活性化に向けた推進体制の強化	観光関連事業者のデジタル化支援のほか、宿泊業界の課題である人材確保に対応するため、即戦力確保に向けた就業合同説明会や、各大学での学生向け説明会等を実施	61,235	61,235
34 商店街地域観光連携事業	商店街の観光資源化や、周辺観光施設との連携に取り組み商店街を支援	34,220	34,220
35 伝統産業によるインバウンド観光消費拡大事業	インバウンド客への販路拡大のため、市内ホテル・レストラン等での伝統工芸品の販売促進	16,280	16,280
36 観光客等の移動円滑化施策の推進	観光客等の移動円滑化のため、地下鉄福岡空港駅のエレベーター増設に向けた検討等を実施	4,669	4,669
37 公衆トイレ環境の向上	観光客等の利便性向上のため、観光地周辺にあるトイレの建設工事等を実施	45,783	45,783
38 安心安全な宿泊環境の確保	健全な宿泊環境を推進するため、民宿介介サイトの監視、適切な情報の提供、啓発及び相談対応等を実施	35,513	35,513
39 観光地におけるマナー啓発・受入改善事業	外国人観光客向けに、公共交通機関や観光施設等において、動画によるマナー啓発等を実施	8,945	8,945
40 観光への理解促進事業	観光振興への理解促進に向け、観光・MICEに力を入れたらされる経済効果等を定量的に可視化し、観光関連事業者や市民に対する広報等を実施	18,440	18,440
41 観光振興の検討	観光・MICE振興施策の検討・立案及び効果検証を行うため、交通経路点等における来訪者の動向調査等を実施	23,837	23,837
(4) 宿泊税の賦課徴収に要する経費		164,136	98,637
(1) ~ (4) の合計		5,891,396	2,908,594

※印は、他局が所管(または一部所管)する事業を示す。

参考)金沢市観光関連事業(令和6年)



宿泊税の活用

82事業 890,000千円

改 宿泊料金5千円未満の宿泊に対する宿泊税を免税(令和6年10月施行)

令和6年度宿泊税 収入額 890,000千円

I. まちの個性に磨きをかける歴史・伝統・文化の振興を図る施策		31 事業	523,020 千円
		活用額	380,045 千円
街路樹等雪吊り魅力向上事業費	46,600 千円		
まちなかの街路樹や公園等の樹木への雪吊りを拡充し、金沢らしい冬の魅力を創出			
新 金沢ミュージアムプラス運営費	29,550 千円		
デジタル技術を活用した金沢ミュージアムプラスにより文化施設の所蔵品を公開			
新 鷹づくり担い手育成事業	2,000 千円		
土塀を雪から守る金沢ならではの鷹掛け景観の継承に向けたあり方を検討			
全国学生大茶会開催費	11,000 千円		
本市の茶の湯文化や茶室の魅力を発信するため、全国から茶道部の学生を招聘し、茶会を開催			
芸妓文化継承支援費	8,000 千円		
「石川伝統芸能支援経済人会議」が実施する伝統芸能継承支援事業に対し県市連携で支援			
文化スポーツ施設再整備積立基金積立金	170,000 千円		



II. 観光客の受入れ環境の充実を図る施策		11 事業	261,014 千円
		活用額	133,128 千円
改 宿泊施設改修支援事業費補助	60,000 千円		
宿泊者の利便性向上に資する旅館等の改修を支援			
金沢中央観光案内所管理運営費	44,338 千円		
市中心部にて外国人窓口対応、当日宿泊予約の受付など充実した観光案内を実施			
新 まちの風情を感じる夜間景観創出事業費	5,800 千円		
まちの風情を感じる夜間景観を創出するため、計画的に照明設備を整備			
改 通訳ガイドおもてなし推進費	2,350 千円		
外国人旅行者の多様なニーズに対応するため、地域通訳案内士の養成講座を再開			



IV. 徴経費 51,496千円

I.~IV.事業費合計 1,629,066 千円
活用額合計 890,000 千円

III. 市民生活と調和した持続可能な観光の振興を図る施策		29 事業	577,436 千円
		活用額	255,331 千円
新 観光駐車場周辺環境向上対策費	4,500 千円		
観光駐車場に交通誘導員を配置し、周辺地域におけるバスや歩行者の通行等の環境を向上			
新 第3期まちのり構築費	25,000 千円		
第3期「まちのり」の構築に着手(令和7年4月供用開始予定)			
新 まちかど文化芸術プログラム検討調査費	3,000 千円		
市民や来街者がまちなかで文化芸術を気軽に体感できる仕組みを検討			
金沢駅東広場環境向上推進費	66,483 千円		
広場環境向上のため、老朽化した設備機器を更新するほか、周辺の混雑緩和に向けて交通誘導員を増員			
快適で美しいまちづくり指導強化費	17,577 千円		
ほい捨て等の防止や路上喫煙等の制限により、快適で美しいまちづくりの取り組みを推進			
まちなか賑わい創出無電柱化推進事業費	14,300 千円		
まちなかの回遊性を高め賑わいを創出するため無電柱化を推進			
都心軸交通円滑化対策強化費	8,300 千円		
都心軸の交通円滑化と安全な歩行環境を確保するため、啓発員を配置			

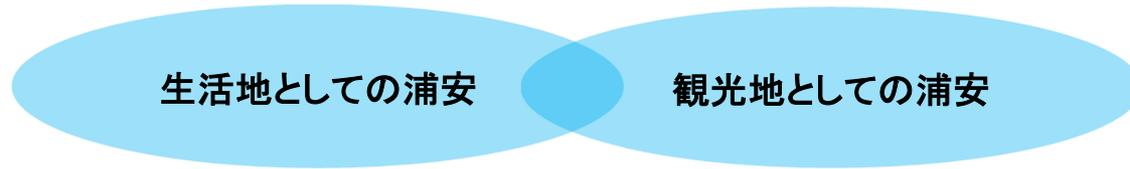
被災した宿泊施設への支援や能登の魅力発信に活用することで能登地域を含めた広域観光を推進

被災した宿泊施設への支援や能登の魅力発信に活用することで能登地域を含めた広域観光を推進		11 事業	216,100 千円
		活用額(R6)	70,000 千円
		活用額(R5)	144,500 千円
新 能登応援・震災復興キャンペーン事業費	6,500 千円		
全国の百貨店等の物産展において、能登・金沢のタイアップキャンペーンを開催			
新 能登応援連携事業費補助	30,000 千円		
市内の経済団体等と能登の団体との連携事業に対する支援制度を創設			
新 地域無形民俗文化財保存継承費、金沢JAZZ STREET2024開催費	6,100 千円		
能登地域の伝統芸能の披露や、能登の音楽イベントの特別ステージを開催			
新 能登被災者就労マッチング等支援費	2,000 千円		
市内企業との就労マッチング交流会の開催や出張労働相談を実施			
新 能登被災事業者店舗等開業支援費	22,000 千円		
能登地域で被災した中小企業等の事業再建に向けて、本市で一時的に開業する経費を支援			
新 「銀座の金沢」能登伝統工芸復興支援費	2,000 千円		
「KOGEI Art Gallery 銀座の金沢」において、能登の伝統工芸品を展示・販売			
新 能登工芸作家情報発信支援費	3,000 千円		
能登地域の工芸作家作品をデジタル工芸展に掲載し、販路開拓を支援			
最終補正分は令和5年度宿泊税を活用			
新 被災宿泊施設改修支援事業費補助(最終補正)	50,000 千円		
被災した宿泊施設の改修を支援			
新 能登避難者飲食支援費(最終補正)	90,000 千円		
避難所生活を送っている方に対し食事等に使えるプリペイドカード等を提供			
新 能登応援・震災復興キャンペーン事業費(最終補正)	4,500 千円		
北陸新幹線金沢・敦賀間の開業を契機として能登物産展を金沢駅で開催			



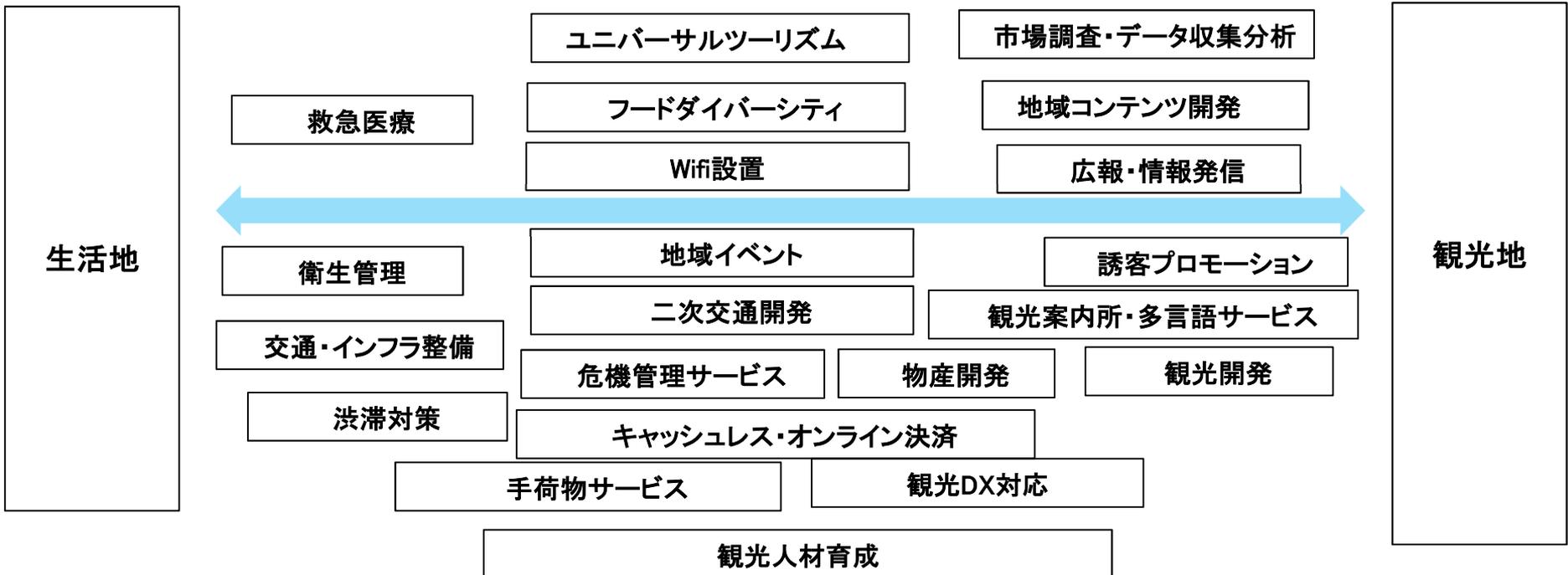
■ 宿泊税の使途について ~住んでよし・訪れて良しの浦安を目指して~

宿泊税の使途は、住民・観光客・地域に配慮した運用を期待



住民サービスと観光振興の「対立軸」でなく「調和・共生」を目指していく

<宿泊税の使途イメージ>





■課税要件と宿泊税の運用について

■課税免除の範囲について

浦安は全国から多くの中高生が修学旅行で訪れているおり、修学旅行の課税に関しては教育旅行市場における競合都市の課税免除状況や公立学校の教育旅行費の予算の範囲、家計における教育費の負担、さらには将来のリピーターとしての可能性などを鑑み、京都市と同様に「課税免除」を提案。

(千葉県全体の修学旅行者数：浦安市の修学旅行者数 333,573人：237,362人 71%) R4年千葉県観光入込調査報告書)

■県と市の宿泊税の運用について

- ・宿泊税の活用にあたっては、地域の観光関連事業者の細やかな要望や当地を訪れる観光客の特性に合わせた観光施策の実施が求められる。
- ・宿泊税は、浦安を訪れる観光客からそのエリアの施設で徴収するもの。その地域の来訪者の要望を直接感じられ観光施策に反映できる地域に密着した地元観光セクターでの運用が最も効果的と考えられる。

< * 提案 >

福岡市方式の採用。(福岡県200円<福岡市150円 福岡県・50円>)

地域主導でありながら他地域との連携、県全体の発展も視野に入れている福岡市方式を提案。

浦安の持続可能な観光まちづくりを推進していくには、市における医療体制、消防インフラ、ごみ処理体制、舞浜エリアを中心とした二次交通など滞在人口に対する経費負担及び宿泊事業者への支援、インバウンド市場に向けた観光プロモーション、MICEの誘致、観光DXへの取組み、地元事業者への観光経済の拡大など、地域が主体となった観光まちづくりの取組が求められる。